

檀原神宮御鎮座百三十年記念事業
檀原神宮史編纂記念講演会

神武天皇景仰の思想と 明治維新

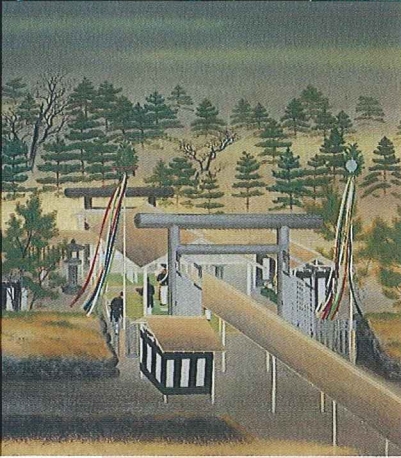
幕末から明治維新への大変革。
その底流にあった神武天皇景仰の
思想を、孝明天皇と明治天皇の
御事績、そして維新の志士たちに見る。



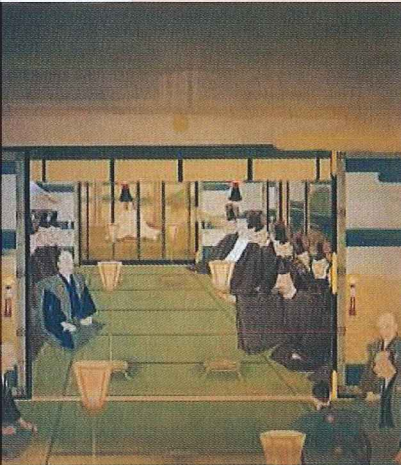
講師 田浦雅徳先生

皇學館大学アドミッション・オフィス室長
特命教授・博士(文学)

昭和28年熊本県生まれ。東京大学文学部国史学科卒、東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。博士(文学、東京大学)。平成9年より皇學館大学助教授、教授を経て現職。著書：『日露戦争一戦場外のたたかひ：高橋是清と戦費調達』(皇學館大学講演叢書)、『三国同盟と松岡洋右』(同)、『伊勢市史』近代編(共著)、『変容する聖地伊勢』(共著)ほか。



明治天皇 歎傍陵親謁



王政復古

令和元年
11月16日 土
17日 日

午前11時30分より (開場：午前11時)

午後2時30分より (開場：午後2時)

【場所】 檀原神宮 文華殿(重文 旧織田屋形 表向御殿)

【定員】 各回50名(先着順)

【入館料】 無料 / 別にテキスト代等500円

※高校生以下無料(学生証を提示してください。)

【講演会申込書】 FAX:0744-24-7720にてお申し込みをお願いします。

ふりがな	参加人数	希望日時
氏名 (代表者名)	人	16日・17日
携帯電話	FAX	11:30・2:30
		希望日時を○で囲んでください。

※この用紙をFAXして戴くと申込終了です。テキスト代は当日お納め戴きます。満席の場合のみ返信します。